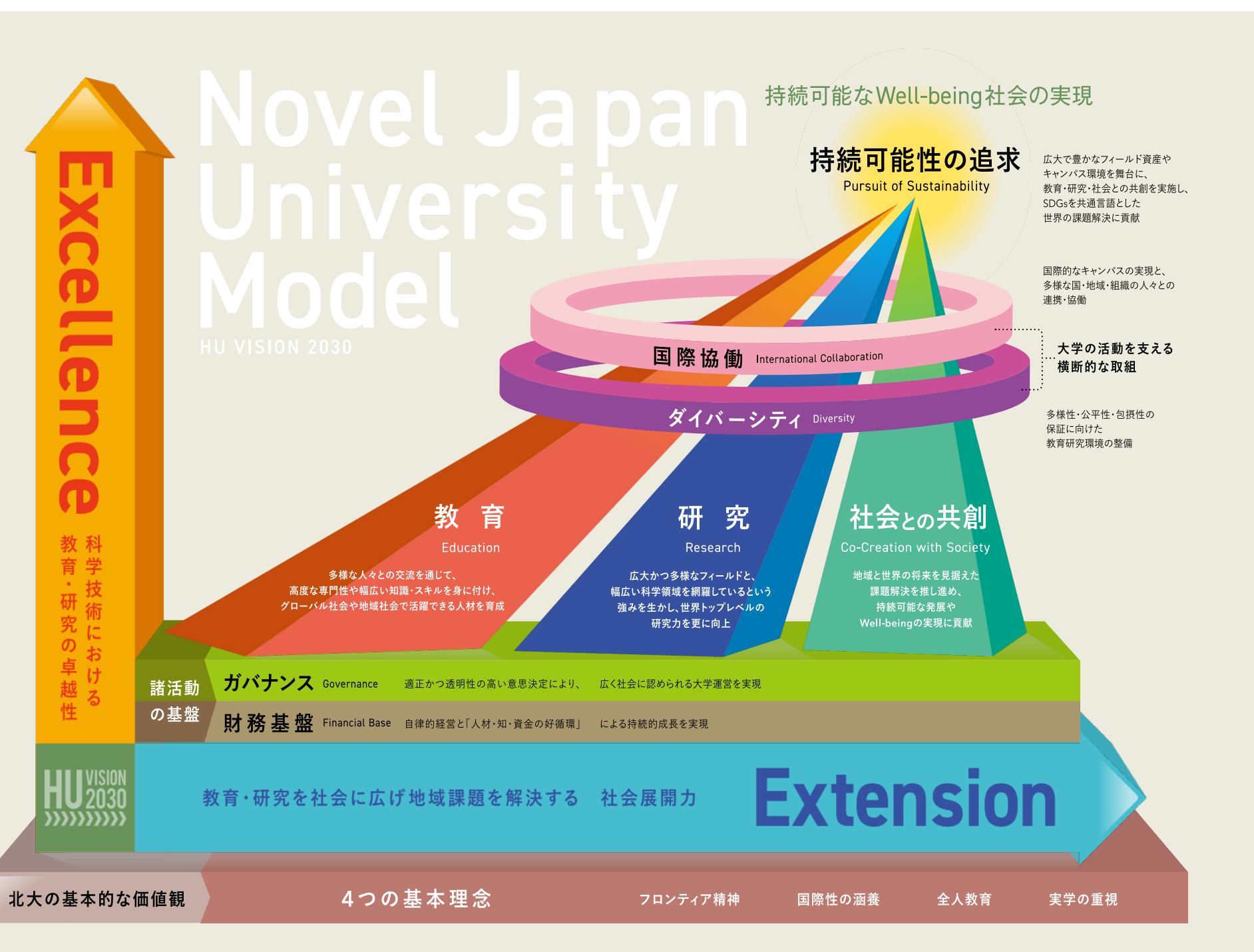


北海道大学が目指す姿 Novel Japan University Model

HU VISION 2030



GFCのミッション

1. 卓越した研究基盤の提供 (Excellence)

- 高度な研究機器と技術、広大なフィールドを含む研究リソースの活用促進
- 技術職員やテクニカルサイエンティストによる専門的支援
- データ管理、分析技術、装置開発を通じた研究力の強化

2. 技術と社会をつなぐ架け橋 (Extension)

- ものづくり支援やイノベーション教育プログラムの展開
- 学内外の研究者・技術者との連携プロジェクト推進
- 社会還元機能の強化による持続可能な研究基盤の構築

3. 持続可能な未来への貢献 (Sustainability)

- 外部資金獲得や技術コンサルティングの拡充
- 横断的な技術連携チームの組織化
- 教育・研究価値の最大化を目指した柔軟で機動的な事業展開



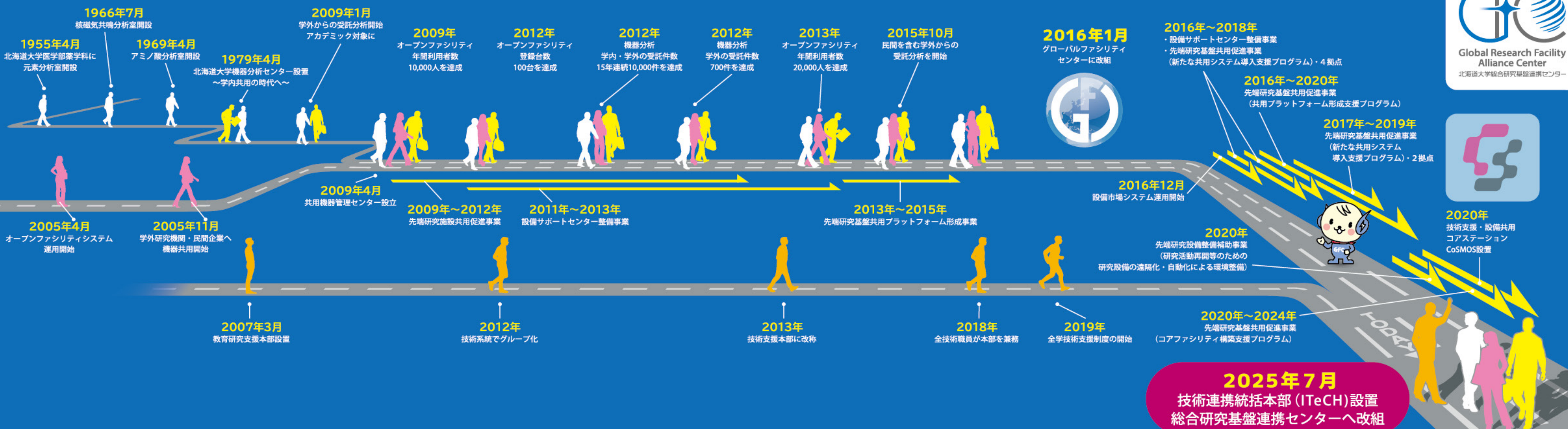
Global Research Facility Alliance Center

北海道大学総合研究基盤連携センター

研究・教育価値の最大化の“場”

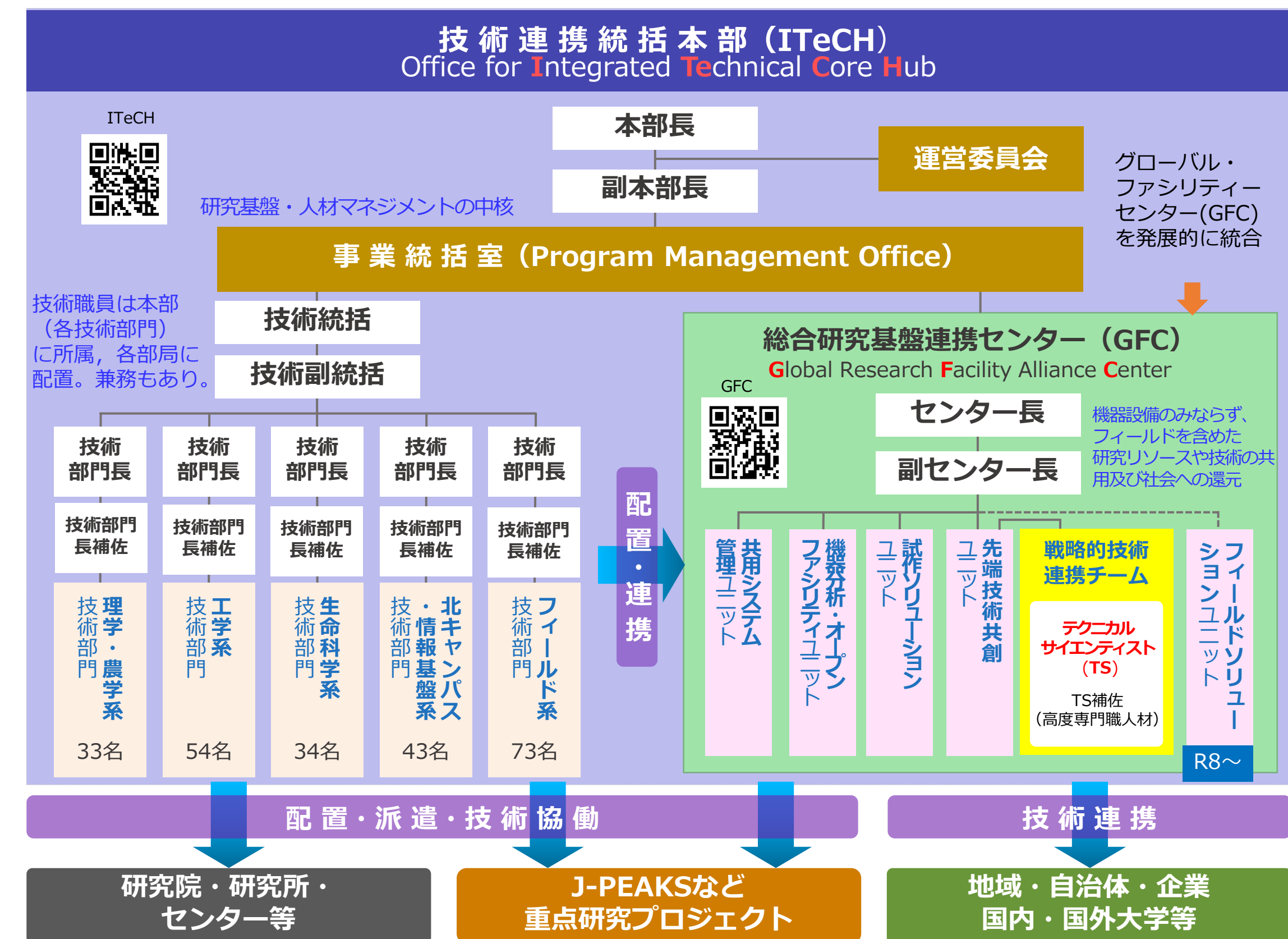
Move Forward with Purpose

GFCの歩み

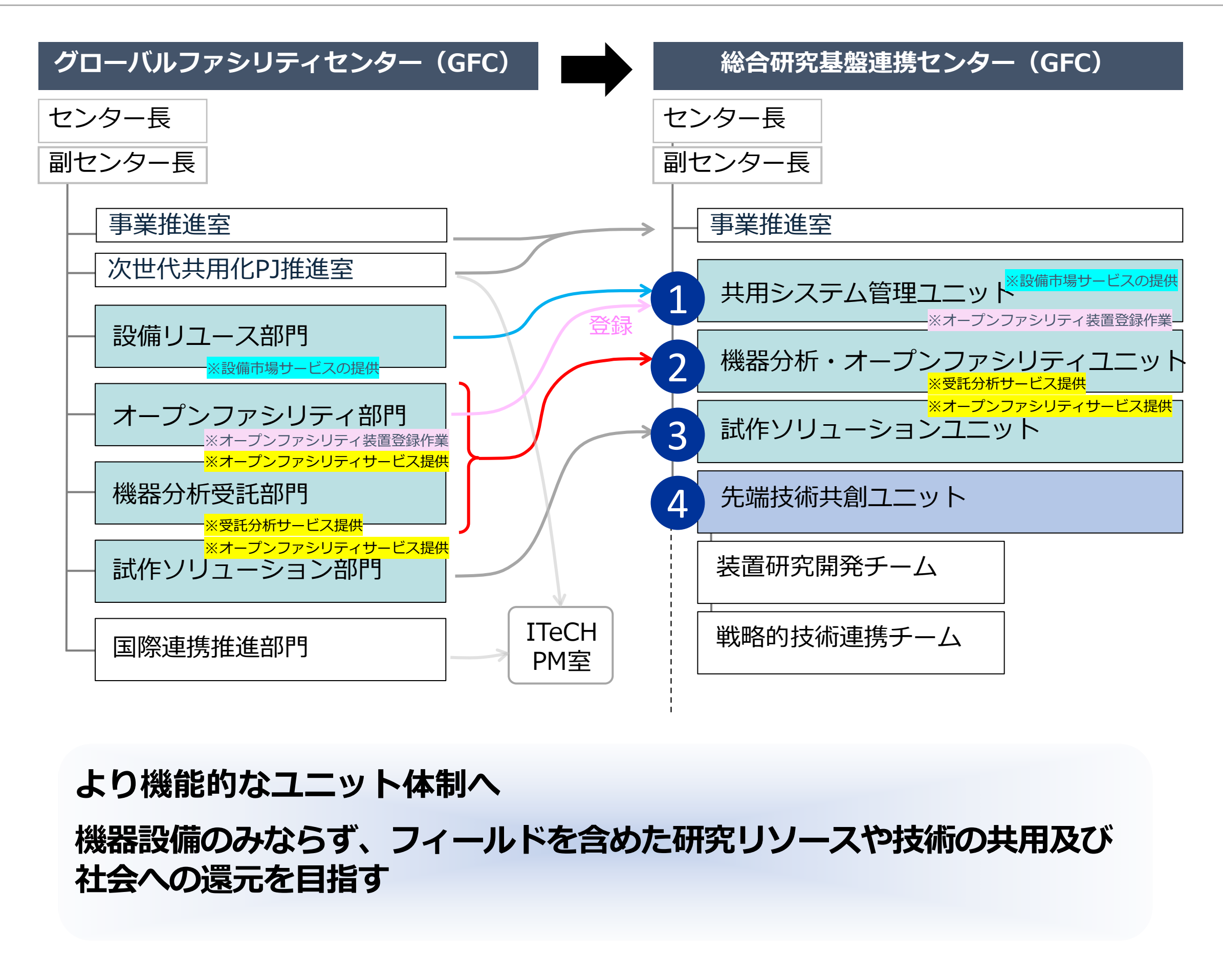


新体制 ITeCH-GFC 2025年7月1日 START!

■ 技術連携統括本部 (ITeCH) の始動



■ 研究設備共用体制の再編



① 共用システム管理ユニット

すべての研究者が必要な研究設備・機器にアクセスできる持続的な環境の構築

北海道大学研究設備データベース (HURED) の運用管理

設備登録数 1,231件 (2025年7月現在)

GFC総合システムの管理

利用登録から装置利用予約、受託分析受付、設備の登録・売買、料金請求作業までを一元的に管理できるWEBシステム

オープンファシリティ装置登録業務

研究基盤IRに資する調査・情報収集・管理・分析

② 機器分析・オープンファシリティユニット

専任の技術職員が高度な研究機器を活用した機器分析受託サービス及びオープンファシリティサービスの提供並びに機器分析技術に関連する啓発活動や分析技術の研究開発等を行うことにより、教育・研究の発展に貢献する

機器分析・オープンファシリティユニット

新体制スタート!

第1グループ

質量分析

タンパク質配列分析

受託分析専用装置 3台

受託分析/OF共用装置 6台

OF専用装置 0台

第2グループ

元素分析 (有機・無機)

アミノ酸組成分析

受託分析専用装置 10台

受託分析/OF共用装置 5台

OF専用装置 0台

第3グループ

バイオ系分析

表面観察系分析

受託分析専用装置 0台

受託分析/OF共用装置 0台

OF専用装置 21台

③ 試作ソリューションユニット

学内外の研究者、技術者への研究・教育用機器の試作並びに最適な試作方法の提案等を行う。

技術で研究を支える + “共に創る”

機械工作

薄片技術

硝子工作

北大スタートアップの支援

異分野展開 地質学 (薄片技術) → 歯学 (他大学)

OB技術職員から技術継承

④ 先端技術共創ユニット

戦略的技術連携チーム: Strategic Technical Liaison Team

テクニカルサイエンティストを中心としたチームを組織し、横断的な技術の提供及び大学が有する技術の連携を高めるなど、研究力向上及び社会貢献に資する取組の推進

装置研究開発チーム: Equipment Research and Development Team

共用の場を活用し、学内外の研究者及び企業と連携しながら、ユーザーが真に必要なとする装置開発、技術開発を推進

